

ことわざ・格言

野瀬 隆平

「二兎を追うものは一兎を得ず」に対して、反対を意味する「一石二鳥」ということわざもある。いやいや、「善は急げ」に対して「急いては事を仕損ずる」というものもある。

ある会で、ことわざ・格言などについて話しあっているとき、一つの格言に対して反対のものが少なからずあることが話題となった。

英語のことわざではどうだろうか。日本語の「善は急げ」に対して、「急いては事を仕損じる」のように、英語でも、He who hesitates is lost. に対して、Look before You leap. というのがある。

ところで、我が家には三つの「こよみ」(ひめくり)が部屋毎に掲げられている。

一つは、禅宗の考えを言葉にしたもので、例えば、19日は、「足るを知る」である。

二つ目のこよみは、過去の有名人が云った言葉、あるいはそれをヒントに考えられた言葉が書いてある。ある日の言葉は、「Yes, I can と3回唱える。」である。これは、オバマ大統領の有名な “Yes, we can.” にヒントを得た言葉だ。

もう一つの暦のある日の言葉は、Learn from yesterday, Live for today, Look to tomorrow. これは、アインシュタインの名言だと云われている。

こんな格言をご存じだろうか。「活動的な馬鹿より恐ろしいものはない。」

ゲーテの云った言葉だ。無知や誤解を持った人がエネルギーに行動することが、いかに破壊的な結果を招くかを警告している。いまから200年も前のことである。

今日、世界を騒がせているあの人物だけではない、歴史上このような人物が何人も現れたことを思い出す。

手元の「ことわざ辞典」には、およそ5,000のことわざが収録されている。「ああ言えばこう言う」で始まり、「腕より正味」で終わっている。最後のことわざは知らなかったが、外観は悪くても内容のよいことが肝心であるという意味らしい。

長年、このような随筆というには恥ずかしい駄文を書き続けてきた。好きだからこそ、そのうちに上手になれるだろうと期待しながらであるが、いや、それは単に「へたの横好き」というものだと言われそうだ。